



令和5年度地域発元気づくり支援金(3次募集) 【南信州地域】5事業が内定しました

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、選定会議構成員の意見を参考に、下記のとおり内定しました。

(単位:千円)

事業区分別

事業区分	内定状況	
	件数	支援額
1 地域協働の推進	0	0
2 保健、医療、福祉の充実	0	0
3 教育、文化の振興	0	0
4 安全・安心な地域づくり	1	1,237
5 環境保全・景観形成	0	0
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	4	7,896
ア 特色ある観光地づくり	3	6,749
イ 農業の振興と農山村づくり	1	1,147
ウ 森林づくりと林業の振興	0	0
エ 商業の振興	0	0
オ その他	0	0
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	0	0
合計	5	9,133

県全域又は地域ごとに重点的に推進するテーマ別※

重点テーマ区分		件数	支援額
県	女性・若者に選ばれる県づくり	0	0
	2050 ゼロカーボンに向けた取組の推進	0	0
南信州地域	移住・定住、つながり人口づくりの促進	1	1,129
	伝統芸能の継承	0	0
	地域の特色ある産業の振興	1	1,147
	広域観光の促進	1	3,764
	森林資源の利活用の促進	0	0
	ふるさとを大切にすることを育む取組の促進	1	1,856
合計		4	7,896

(※ 重点テーマ非該当事業数 1件 1,237千円)

申請者区分別

申請者区分	件数	支援額
市町村	3	6,130
広域連合・一部事務組合	0	0
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	2	3,003
合計	5	9,133

- 当地域では、6件の申請(要望額 13,093千円)がありました。
- 選定した事業については、より効果的に実施していただけるよう適切な助言をしてまいります。



2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

南信州地域振興局 リニア活用・企画振興課
 (課長)保科 (担当)勝股、梅村
 電話 0265-53-0401 (直通)
 0265-23-1111 (代表) 内線 2315
 FAX 0265-53-0404
 E-mail minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和5年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表（3次募集）

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金内定額	重点テーマ区分
1	4 安全・安心な地域づくりに関する事業	ソフト	阿南町	地域で自主的に取り組む災害時避難行動支援事業	個人の防災意識を高め、地域自主防災組織の体制の見直しを行う。 『どうしたら地域の安心・安全を守れるのか』をテーマに地域でアイデアを出し合い、啓発活動を行う。 ・ミニ防災会議の開催 ・避難行動支援啓発物品の作及び配布 ・地区防災懇談会 ①避難行動支援啓発物の作成	1,650	1,237	1,237	
2	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ハード	千代地区まちづくり委員会	野池親水公園内の池復旧による、観光と人的交流の活性化	千代地区の財産を守り育てる活動の一つとして、観光資源の環境整備は不可欠である。今回、野池親水公園内にある池を復活させることにより、観光資源としてのポテンシャルを高め、観光と人的交流の活性化を目指す。また、今回の水害の経験から地区で災害の怖さやその対策について学び、地区の防災を考えるきっかけとする。 ・野池第一親水公園内の池及び小水力発電の復活 ・防災に関する講習会の開催 ②導水パイプ工事費用	2,475	1,856	1,856	ふるさとを大切にすることを育む取組の促進
3	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト	売木村	三遠南信広域連携プロジェクトVol.1～売木村と浜松をつなぐ～	関係人口創出のため、売木村の立地や環境を最大限に生かし、都市と地域をつなげる地域間交流を促進する。また、都市と地域をつなげ地域間交流を促進することで、一つの地域だけでは打破できない課題を解決し、両地域にとって相乗効果を生み出すことを目的とする。 ・浜松の中心市街地から売木村ツアーの実施（コナラ伐採、薪割り、炭焼き等の体験） ・浜松の中心市街地でイベントの開催（きのこ用ほだ木に菌打ちワークショップ） ①企画委託料、講師謝礼、燃料代、会場使用料、機械レンタル料	1,411	1,129	1,129	移住・定住、つながり人口づくりの促進
4	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト・ハード	売木村	売木村インバウンド拠点づくり～Deep Japan PJ～	外国人観光客の観光需要が高まる中、インバウンドの受け入れ体制が不十分であり、観光施設の事業者も言語がわからないため問い合わせがきても対応できない現状がある。インバウンド受け入れ体制を整えるため、「うるぎ国際センター」を窓口施設として、外国人観光客が安心して過ごせる宿泊施設として整備する。 ・インバウンド窓口施設（うるぎ国際センター）の改修工事 ・漆喰塗体験のワークショップ ・観光事業者の意見交換ワークショップ ①ワークショップ委託料 ②インバウンド窓口改修工事費用	4,999	3,764	3,764	広域観光の推進
5	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(イ 農業の振興と農山村づくり)	ソフト	株式会社 阿智屋神観光局	阿智村の特産品ブランディング事業	阿智村には様々な特産品があるが、地元住民を中心とした近隣市町村での利用・消費が大半であり、「阿智村のこの地域の特産品といえばこれ！」という認知が広まっていないのが現状である。特産品のウェブページを立ち上げ、新商品の開発等を行うことで、地域ブランドを確立させ、認知拡大・販路開拓・地域活性化に寄与する。 ・特設WEBページの制作 ・清内路特産品「あかね大根」を使ったあかね焼酎のリキュール化 ①リキュール製造費用、紹介ボードデザイン費用、レシピデザイン・プロデュース費用、WEBページ制作費用	2,469	1,147	1,147	地域の特色ある産業の振興